

「感染症対策どうしますか？」

# 感染拡大の予防と研究活動の両立に向けたガイドライン

令和2年5月14日 文部科学省（研究支援センターまとめ）

- 科研費の研究計画調書作成時に関連すると思われる部分のみ抜粋しています。
- 研究計画調書（研究方法等）に「文部科学省による感染拡大の予防と研究活動の両立に向けたガイドラインに基づく研究活動を実施する」旨を必ず記載しましょう。
- 審査委員にコロナ対策を実施することを具体的に説明し、それに伴う予算を計上しましょう。

## 1. 研究活動の再開

### （1）研究室・執務室等での活動（学生等の研究室活動を含む）について

- 一般的な感染予防策を徹底する。会議はオンラインで実施。
- 在宅勤務を推進、研究スタッフの午前と午後で交替勤務、曜日ローテーション設定。
- 研究スタッフ専用エリアの設置、研究活動に専念できる環境を整備。
- 情報セキュリティ対策に留意。

### （2）実験施設・設備の利用について

- 実験施設・設備の利用は最低限に留め、データ解析等は在宅で行う。
- 「三つの密」を避けるための運転計画、施設利用スケジュールを構築。
- マスク着用、フェイスシールド着用、アクリル板・透明ビニールカーテン等設置
- 設備の遠隔利用や研究代行等の取組を積極的に実施、機関内外の遠隔利用サービス等利用。

### （3）大学附属図書館等における図書・文献取寄サービス等について

- 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の活用
- 電子ジャーナル、電子書籍等の館外利用

### （4）イベント・セミナー等について

- Web 会議ツールを活用したプログラムのライブ配信、オンデマンド配信で学会を開催する。
- バーチャル会場（オンライン上でのポスター展示場）を設置する。

## 2. 新型コロナウイルス感染症の影響

### （1）研究計画の延期・変更について

- 研究活動の進捗に支障が生じた場合は、文部科学省や各研究費制度の担当機関等に相談。
- 競争的研究費制度では、資金配分機関（JSPS、JST、AMED 等）において、柔軟な対応を実施。

### （2）海外との共同研究、海外への渡航、海外からの帰国・入国について

- 渡航先機関や共同研究の相手機関・研究者と相談し、オンライン指導、共同研究を実施する。

## 感染拡大防止と研究活動の両立のために

### 研究室・執務室

人と人の距離をあける



よく触るところを消毒



ローテーションで勤務

Mon. Tue. ...



### 実験施設・設備

短い時間で効率的に



利用時間の共有・記録



遠隔での実験



### イベント・セミナー

基調講演のライブ配信



プログラムのオンデマンド配信



バーチャル会場での  
ポスター提示

